

## 岐阜県中津川・白川・東白川地域

重点プロジェクト(1)木材生産拡大対策事業

# スマート林業化による、現場管理の簡略化、作業の効率化及び労働災害の減少の取組

～携帯電話アプリを活用した作業日報管理、リスクアセスメントの研修会開催～

### 現状と課題

林業従事者の日々の出退勤、作業内容や作業量の管理は、作業日報帳で記録しているが、その記録を分析し、森林整備の効率化に活用されることは少ない。また、労働災害の防止のため、紙の安全管理チェックリスト等を使用しているが、チェック項目が同じであることから、習慣的にチェックしてしまうことがある。労働災害防止の意識を高めるため、新たな安全管理方法導入の検討が必要であった。

### 取組概要

書面による煩雑な作業日報管理を、携帯電話アプリなどでデジタル化することにより、記録が容易になり、蓄積したデータを分析しやすくすることで、作業手順等の合理化に繋げる。また、安全管理チェックをクイズに回答する方式にすることで、安全作業に対する意識を高めることが期待できる。研修では携帯電話アプリ「SOMART」(図1)の仕組みと、現場での活用事例を学ぶことにより、自身の管理方法を見直すきっかけとした。(写真1:座学の状況、写真2:現場研修)

### 取組の成果・効果

研修では、携帯電話アプリ「SOMART」を活用して木材生産している林業事業者から、労働災害を減少させながら、木材生産性を向上した実績を紹介してもらい、林業は個人の能力より、班での効率を重視するため、蓄積した個人の作業データを分析し、適材適所の配置と作業工程の組み立てができたという説明があり、研修参加者への良い事例となった。なお、研修現場の取り組みを自身の現場に導入した林業事業者が生産性を向上させた。

### 取組が進んだ要因

新しい技術に対する林業従事者の関心は高く、また、アプリを活用した事業者の実績は、他事業者の参考となった。

### これから取組む地域へのアドバイス

新しいシステムを導入するにあたり、森林技術者が積極的に使えるもので、得られたデータが分析等しやすく、分析結果を現場に反映されるように、具体的な活用事例や操作研修の普及が必要であると思われます。地域や事業者の活用方法に適したものを、どのように選定するか課題となりました。

**【担当】**

団体部署名 担当者名: 白川町農林課 河方 勇一郎

**【連絡先】**

メール:kawakata-yuuichirou@town.shirakawa.lg.jp

電話:0574-72-1311(内線275)



図 1



写真 1



写真 2